

日本遺産

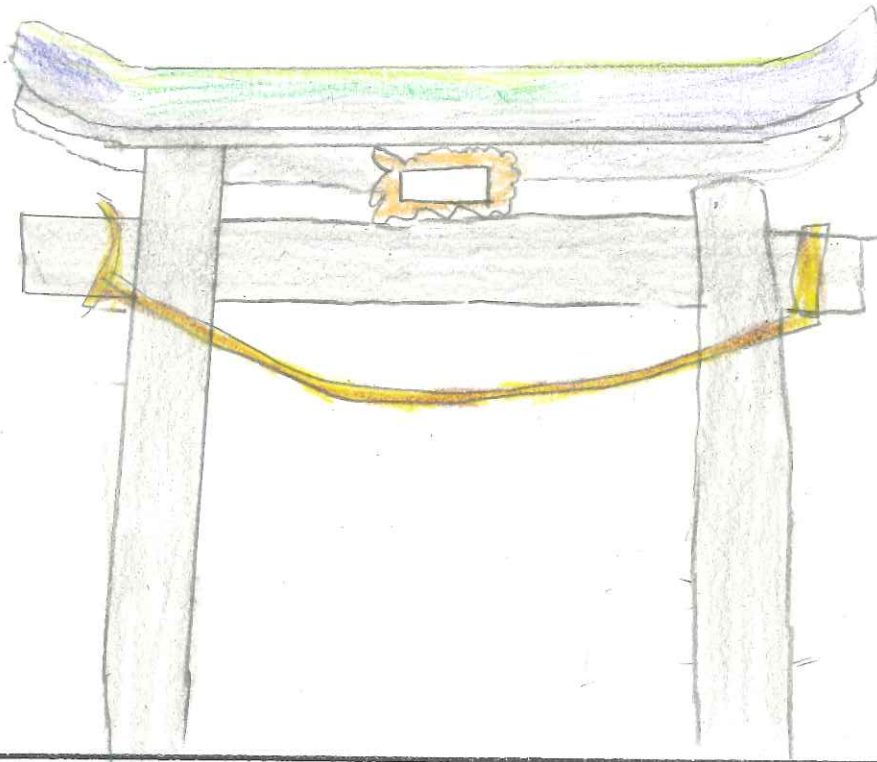


JAPAN HERITAGE

日本遺産には、地域の歴史的な、
魅力や特色により、日本の文化
や伝承を語るストーリーがあり
ます。

人吉球磨にも、みりやんが、いっしょ
いです。ぜひあそびに来てください。

こうのせ すみよしじんじや
神瀬住吉神社



こうのせ すみよしじんじや くまむら そうりつ
神瀬住吉神社は球磨村にあり。創立は

806年ねんで約1200年ねんの歴史れきしがあります。

ある年としの大洪水だいこうすいで流出りゅうしゅつしてしま

た。その後のち球磨川まがわでぶしぎな光ひかりを放はなつ

ものがあり、ひろてみると流出りゅうしゅつした

御神体みかみたいた、たと言いわれて()ます。その後のちに建たて直なおされた。

しろやまかん のん じょう けい じょう かん のん ぼん ざつ ぞう
城山観音堂の十一面観音菩薩像



ぞう ほん けい じょう かん のん ぼん ざつ ぞう
この像は熊本県球磨郡山江村にあります。

さ がら し かん けい
相良氏の木更史としても関係がある仏
像です。

やまだ だいおう じん じや

山田大王神社



やまだ だいおう じん じや

山田大王神社は、平河次郎藤高をま

つるための神社で、山江村にあります。

保存じょうたいも良く、重要な存在です。神を

まつている所の美しい景色も整てあり

とても価値が高しとされます。建物は約500

年前から約30年前の間に建てられました。

いのちま はちまんじんじま
井口八幡神社



人吉くまのおとの様さまが「たたかい
の神かみ」として大切にされた神社です。約
850年前2代目人吉くまのおとの様さまが
かながわ県から神様かみさまが来るようにして
つくったといわれています。また庭にわは
人吉城あとの庭にわをまねたと考かんがえられています。

ひとよし 温泉
人吉



人吉温泉は人吉市にあります。500年

ほど前に十二代目木眼氏が立ちよったのが

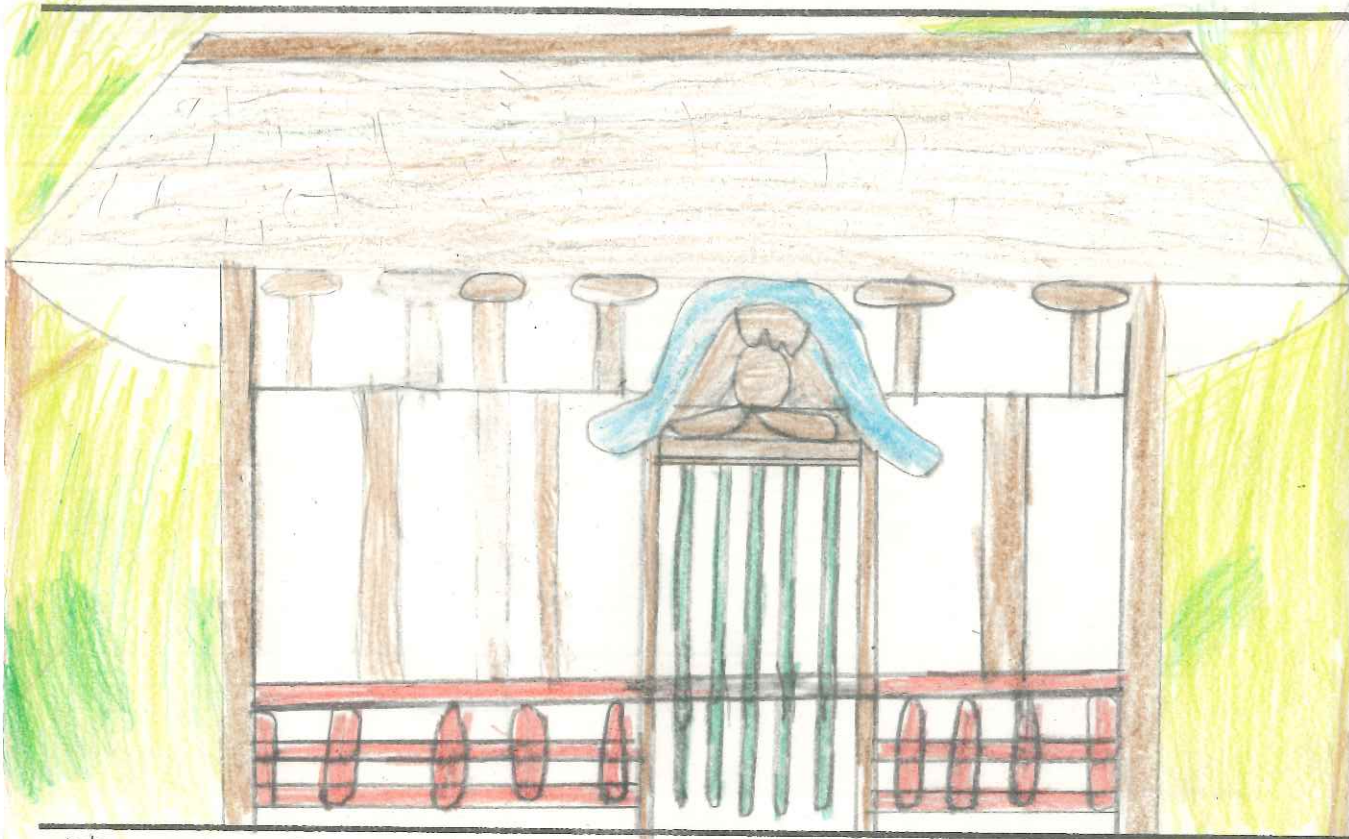
昔ながらとされます。今でも湯の神申土などのれき

しがありそのれきを感ぜせる温泉です。

です。うはたくさんの権見光客がおとす

れています。

あお い あ そ じん じゃ
青井阿蘇神社



あお い あ そ じん じゃ あおいまち
青井阿蘇神社は青井町にあります。2008年6月

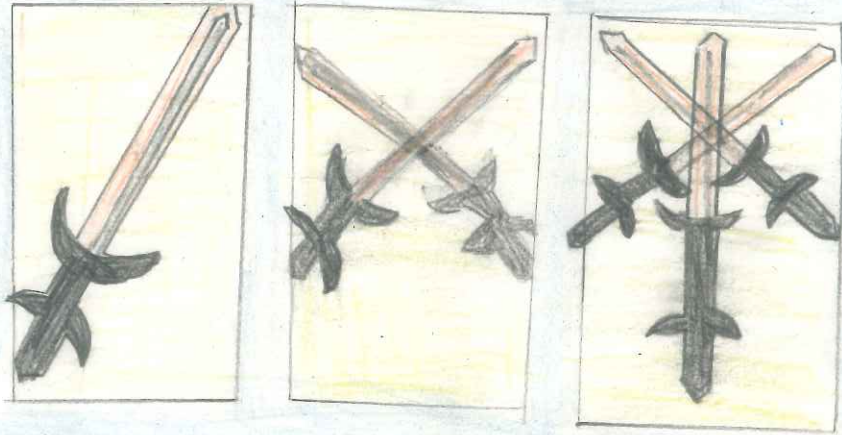
くまもとけん ほつ こくほう し じ けい ぞう ぶつ
9日に熊本県初の国宝指定建造物となりました。

たてもの すべて こくほう
建物全てが国宝となる例はめずらしく、社寺建

あき こくほう し けい ぜんこく
築が国宝指定されるのは、全国でも初めてで

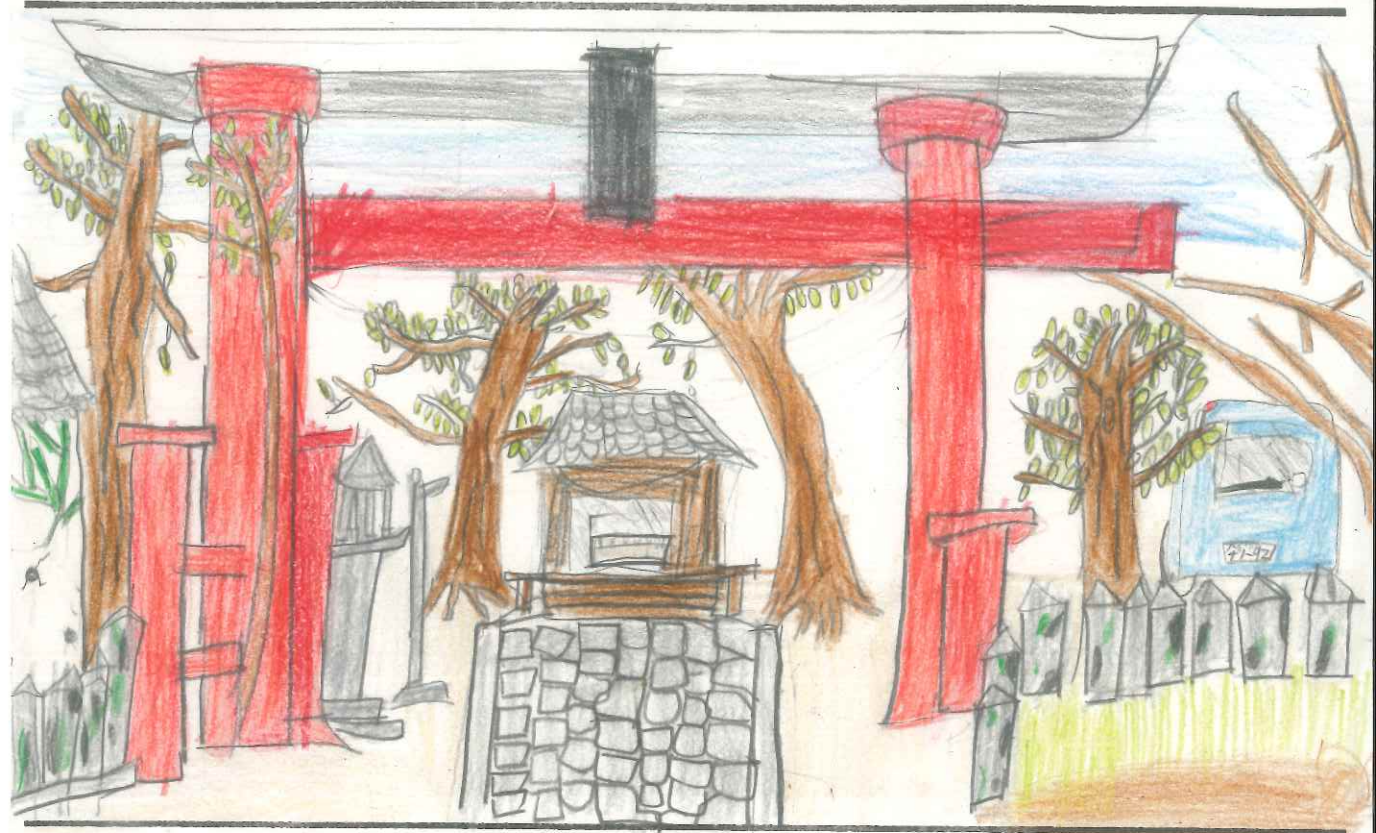
す。

ウンスンカルタ



ウンスンカルタは、400~500^{おんまえ}年前に外国(ポルト^{がいこく}
ガル)から日本^{にほん}全国^{ぜんこく}に^{ひろ}広がりました。江戸^{えど}時代^{じだい}
に^{きんし}禁止^しされましたが、人吉^{ひとよし}球磨^{くま}地域^{まち}だけに
^{のこ}残^まされました。

おい がお じん じゃ
老 神 神 土

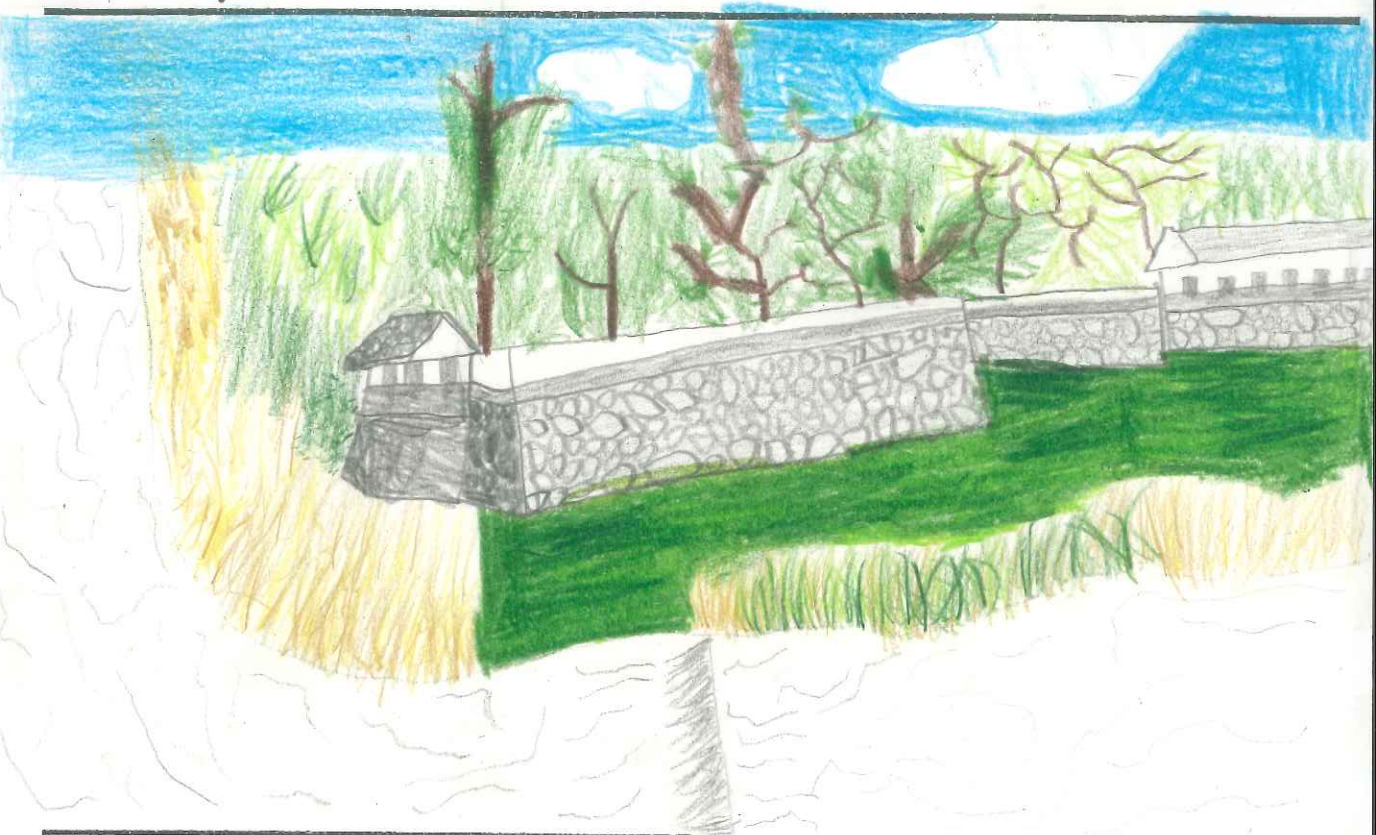


おい がお じん じゃ へいし おい がお まち
老 神 神 社 は 人 吉 市 老 神 町 に あ り ま す 。 こ の 木 は 、

1628 年 に さ が ら な が つ ね に よ っ て 造 ら れ た 建 物 だ す 。

めい じ じ たい せい なん せん そう
明 治 時 代 の 西 南 戦 争 の 時 の じ ゅ う を う っ た あ と が の こ
て い ま す 。

ひと よし ほう あと
人吉城跡



ひと よし ほう あと ひと よし し ほう まち ねん じゅう ねん ねん じゅう ねん く
人吉城跡は、人吉市麓町に700年以上前に、球ま

が ち まねがわ よう しろ こま
川と月匈川をり用してつくられた城です。げんざいとの様がい

へ ち ち しろ みず てん もん
た部屋は、ありませんが、「川の城」にふさわしい水の手門、

ぶ じ しろ ぜん くに てん くに に ほん ちやく ちやく
「武者返し」の石垣は、全国的にめずらしく、「日本百名城」の

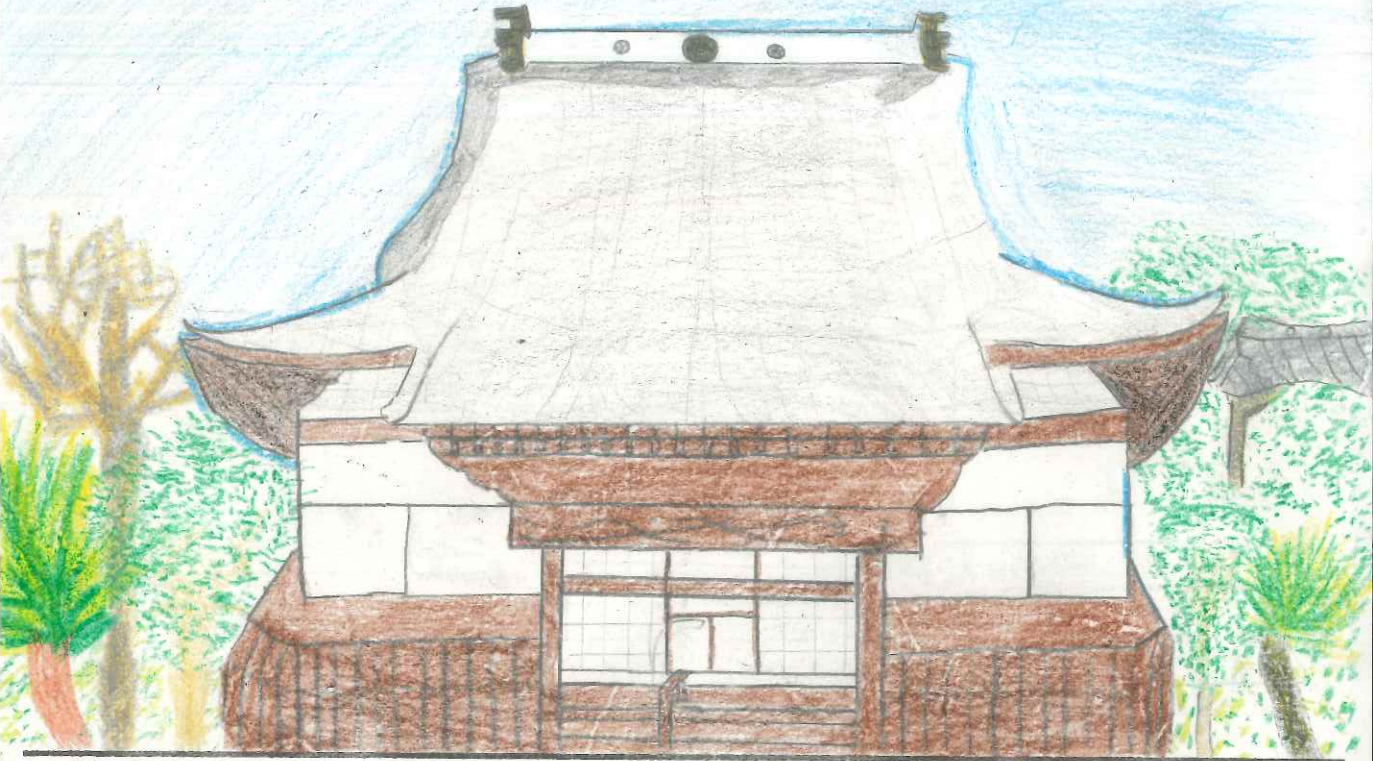
ひと
一つにも選ばれています。

大信寺



相良家22代目が母におそなえ牛物を
るために建てた寺で南朝と北朝が対
立する時代の相良家のぶしょうの像を
ある場所にすえて置いた堂が向かいにた
てています

かんじょうじとさがらけまぢ
原成寺と相良家墓地



ひとよし さま さがら やく ねんまえ じぶん
人吉のおとの様の相良氏が約800年前に自分の

おはかとして建てた寺です。江戸時代を通じ

最高位の寺としてありました。寺のうらにはおと

の様の一族のはかが集まっています。

いわや くまの ざいじんじや
岩屋熊野座神社



これは、^{やく}約^{ねんまえ}800年前さがらのおとの

^{さま}様が^{つく}作りました。このお寺^{てら}は、^{ひとよし}人吉市に

つしかないお寺^{てら}です。お寺^{てら}のうらには、お

との^{さま}様の^{いちぞく}一族がねむっています。

いしが また
東俣・西俣 阿蘇神申社



いづきむら
五木村には、江戸時代、東俣

いし また
と西俣とゆう2つの場所、それぞれ

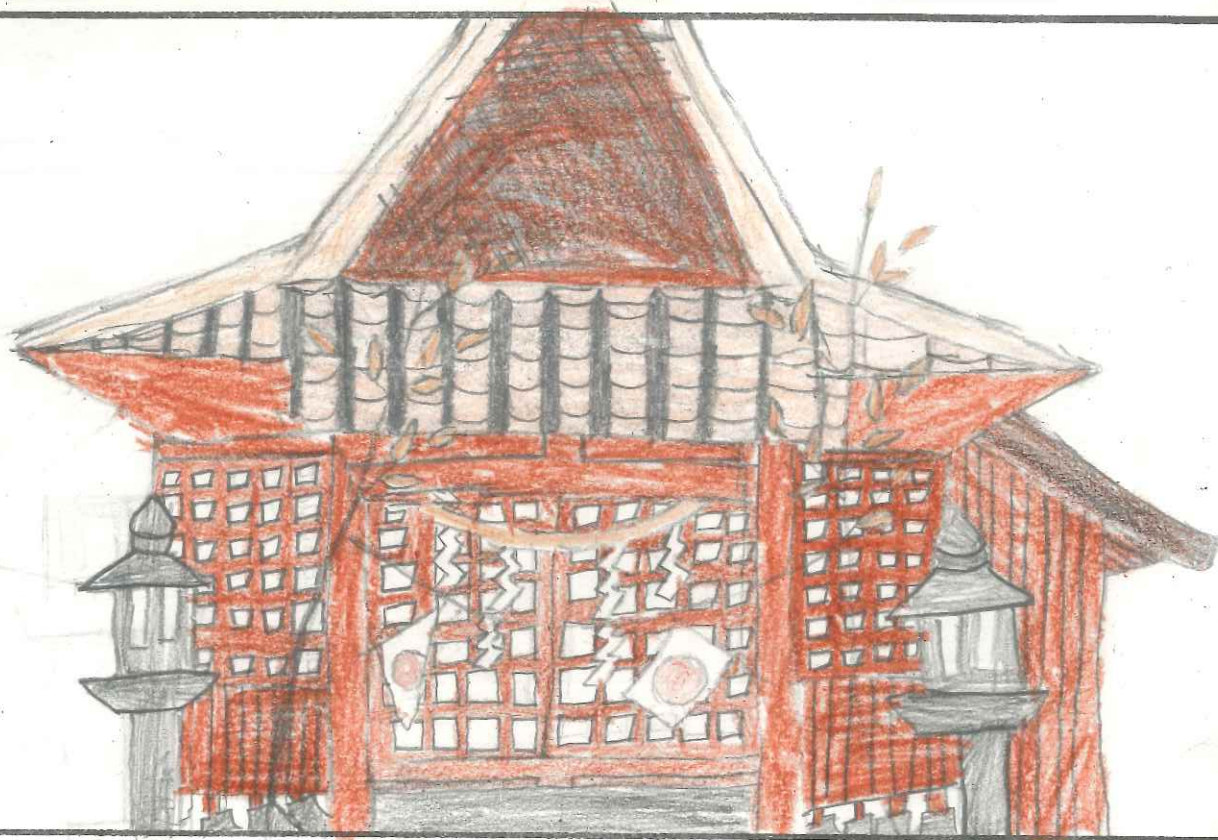
いしまた
れ阿蘇神申社がありました。当時の五木

むら
木の総社は東俣阿蘇神申社で

あ、たと考えられます。木封歯令 600年の木の

き
切りかゝがまづられています。

雨宮神社 (あまみやじんじや)



雨宮神社は、^{さがらむらかあべ}相良村川辺にあり、^{さがら おおはし}相良大橋か
ら見える^みこんもりした^{やま}山は、「^{あまみや}雨宮の^{もり}森」その^{かたち}形か
らトトロの^{もり}森とよばれています。^{あまみやじんじや}雨宮神社うらに
ある^{きせ}巨石のトンネルをくぐると「^{しあ}幸せを^う産む」「^{あんざん}安産」「^{かね}金
を産む」といわれています。

としますがわらじんしゃ

十島菅原神社



としますがわらじんしゃ さからむら

十島菅原神社は相良村にあります。

祭神は学問の神と知られていて、受

馬喰シーズンには「としますの合い

言葉で多くの客がおとずれます。神社

の中にある十の島があることから「十島」

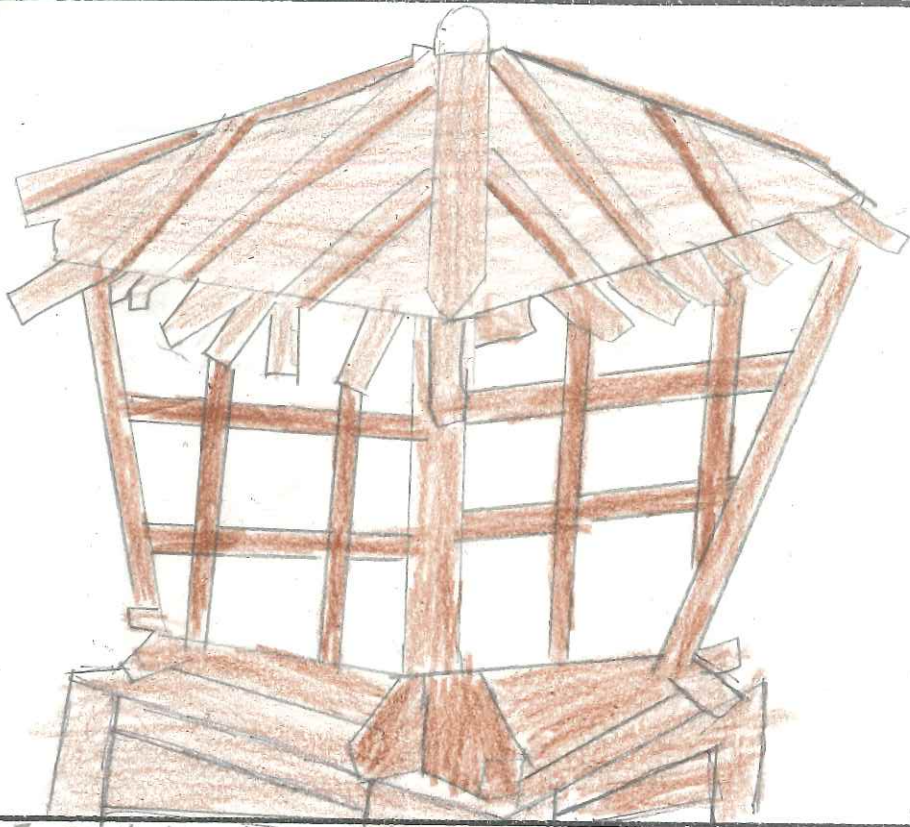
とよばれるようになりました。

いざのまのざじんじゅ
井沢熊野座神社



いざのまのざじんじゅ　　さからむら
井沢熊野座神社は相良村に
あります。ひらがわし　いそぞく　　た　　うた
平川氏一族が建てたと伝
えられています。あたら　　た
新しく建てられたの
が500年前ねんまへです。

このもとじんこう
木本神宮



このもとじんこう にほまち
木本神宮は錦町にあります。

ひらかわし いちざくら も しろ じやんしやう あと
平川氏一族の持つ城岩城跡

にあります。屋根はめずらしい

つくりです。

しょう ぱく じ かん かん はん
月券福寺関連 遺産群



これは、あさき^ちリ^ち町^ちにあります。この^{たて}建^{もの}物

は、^{やく}約^{ねん}300^{ねん}年前^{まへ}で^きま^した。と^くくに^{いま}今^{から}から

^{やく}約^{ねん}1100^{ねん}年前^{まへ}に^てで^きた^{ぞう}伊^が象^がが^{ちう}有^{めい}名^でで

す。理^り由^ゆは、^{ぞう}伊^が象^のの^{たか}高^さが^{2m43cm}2m43cm

と^いう^とと^{ても}も^すず^ごい^{たか}高^さだ^から^てて^すす。

須^す惠^え阿^あ蘇^そ采^{さい}尺^{しゃ}迦^か堂^{どう}



これは、^{くま}熊^{もとけん}本^{くま}県^{ぐん}球^{あさぎ}磨^り郡^{ちやう}あ^{さぎ}さ^ぎり^{ちやう}町^{ちやう}にあ
ります。これは、^す須^え惠^し氏^しが ^{つく}造^つったとさ
れる寺^{てら}です。この中^{なか}にはた^たく^さん^の古^{ふる}い^ほほ
と^いけ^いさ^まや^{いし}石^{いし}の^とう^があ^りま^す。

やま うえ はち まん じん じん
山の上 八幡 神 社



あさぎりにある^{じん じん}神^{じん じん}社^{じん じん}。400年^{ねん}以上^{じょう}前^{ぜん}に作
られました。相良^{さからし}氏^しが上^{うへ}村^{むら}家^けをほろほ
したため、土^{つち}村^{むら}しをおまいりするた
めに作^{つく}られた^{じん じん}神^{じん じん}社^{じん じん}です。

おう ぐう いん じゃ
王宮ネ申ネ土



いん じゃ くま もと けん く ま いん た り も
このネ申ネ土は、熊本県王求磨郡夕良木

まち ねん まえ つく
町にあります。1200年ほど前に作りか

はい しょ あと なん
て、土易戸所がうつされました。その後何

どい つく なおす じん い
度も作り直されたネ申ネ土です。

しょうれん じ あみだ どう
青蓮寺阿彌陀堂



しょうれん じ あみだ どう たざぎきち
青蓮寺阿彌陀堂は、**多田木町**にあります。700年前ほどに相良のおとの様

のお参りをすゝめるためにつくられた神社で、分あついで屋根の建物の

は鎌くら時代の建物のぎじつを伝えています。また、

ここにあるほとけ様のぞうも、国の重要文化財に指定さ

れています。

おお たい けい たく
太田家住宅



おお たい けい たく
太田家住宅は ^{たらざち} 猿木町 ^{やく} 約400年前 ^{ねんまじり} に ^た 建てられたと

^{けい たく} いわゆる住宅です。 ^{ひれ} かつて ^{いざ} 人吉では家作りのまわりが ^{きびしく} きびしく

^{じゆう ぶし} 上級武士以外は、 ^{い がい} 小さな ^ま 間取りしか ^と ありません。 ^{その} その

^{せいげん} せいげんがで ^{いえ} 家の広さを ^{かくほ} 石確保するために ^{もち} 用いられたのが ^{つりばり} つりばり

が ^{やね} 十に ^{やね} 屋根を ^{けいほう} ぶや ^く 方法です。 ^{つりばり} つりばりが ^く たの ^{せい} 作りで ^{せい} 焼酎 ^{せい} 酎を ^{せい} 製

^{つく} 造 ^{きりく} していたと ^{しり} 記録 ^{あり} にあります ^{あり} あり

たがきさがらししか人ねにせしきんぐん
多良木相良氏関連遺産群



^{ひとよし} 人吉のおとの ^{さま} 様の ^{さがらし} 相良氏が ^{ひとよし} 人吉に ^き 来た

^{あと} 後の ^{うんかざい} 文化財が ^{たくさん} たくさん ^{のこ} のこ ^て ています。

久米治頼神社



久米治頼神社は多良木町にあります。
約500年前に建てられたこの神社は
17代目晴広が治頼とその母をお参す
るために5つ作られました。

くつきぎたいしろうのこうほうたいしろう

槻木大師堂の弘法大師



^{みやま} ^{さき} ^{けん} ^{けん} ^{ぞう}
宮崎県との県さかいにみそりと像があります。

^し ^{たい} ^{ひろ} ^{しめ} ^{たい} ^{せつ}
この時代のこうほうたいしの広まりを示す大七切な

^{ぞう}
像です。

じょうせんじ
は、しろうじ あみ たい どう
土成泉寺・八月勝阿弥陀堂



これは、湯前町にあります。

約800年前につくられて熊本

で、もっとも古い木で作られた

建牛勿です。そしてお寺にある像

が国の文化財です。

お だい し どう
御大自師堂



お だい し どう な
御大自師堂の中にはたくさんのほとけ

さま
様の像やたくさんのとうががあります。

生善院観音堂及び本堂と庫裏



相良家をのろった、化け猫のれいをなくさ

めるために建てられました。こま猫が門の両脇に

建ち、化け猫となった猫のはかがうらにのこっ

ています。こま猫をさがしてみてください。

いちくさやまじんぐうほんぐう
市房山本宮



いとまひ くま 徳 びー 一番 高い 市房山 を 信仰 の

対象とした神社です。おたけさん参りといっ

ておとのさまだけでなくいらはんの人々も

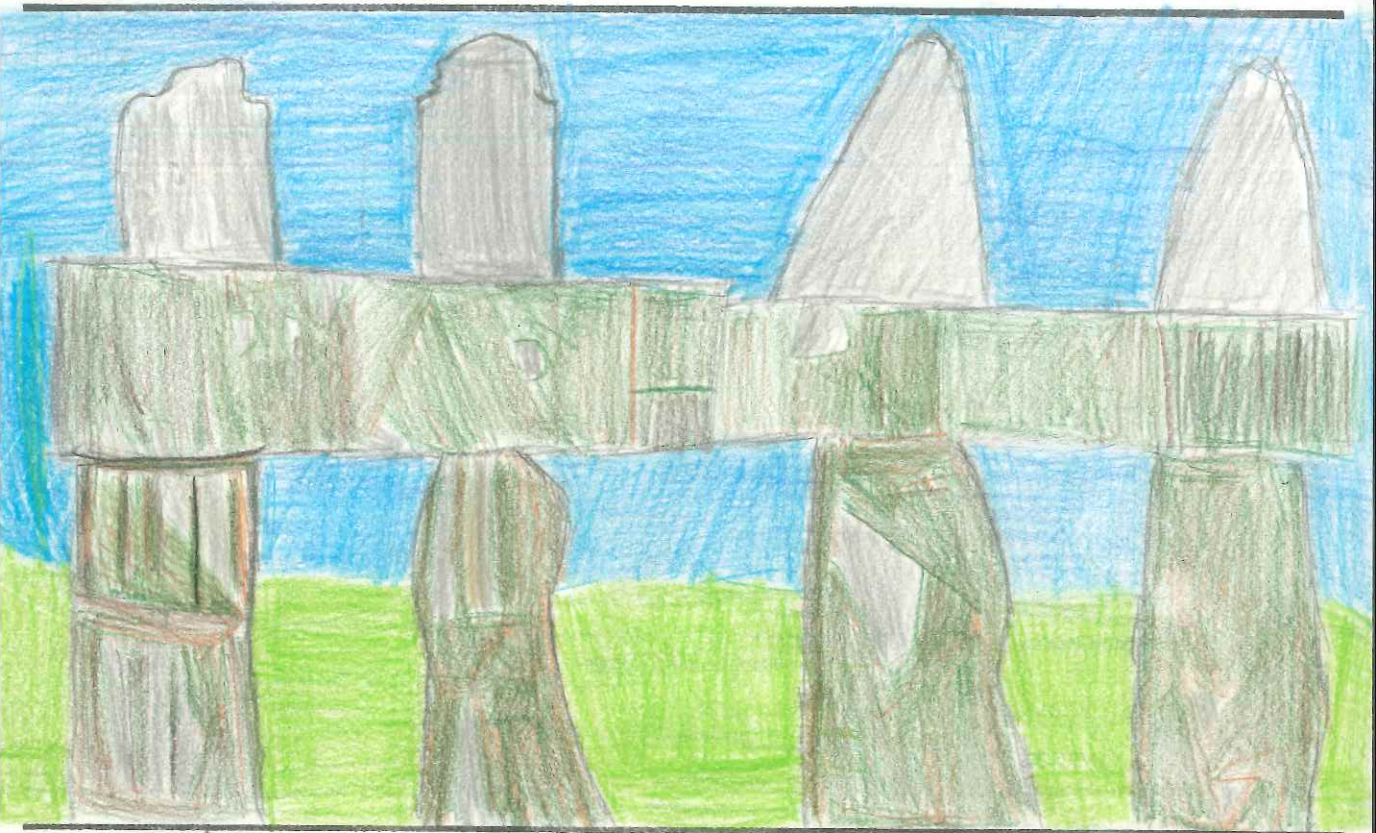
おまいりしたと言われています。

球磨小売西寸
(く ま じょう ちゅう)



球磨じょうちゅうは、450年以上の
歴史があります。球磨じょうちゅう
は米だけでつくり人吉の豊かな
地下水でおいしくできてい
ます。

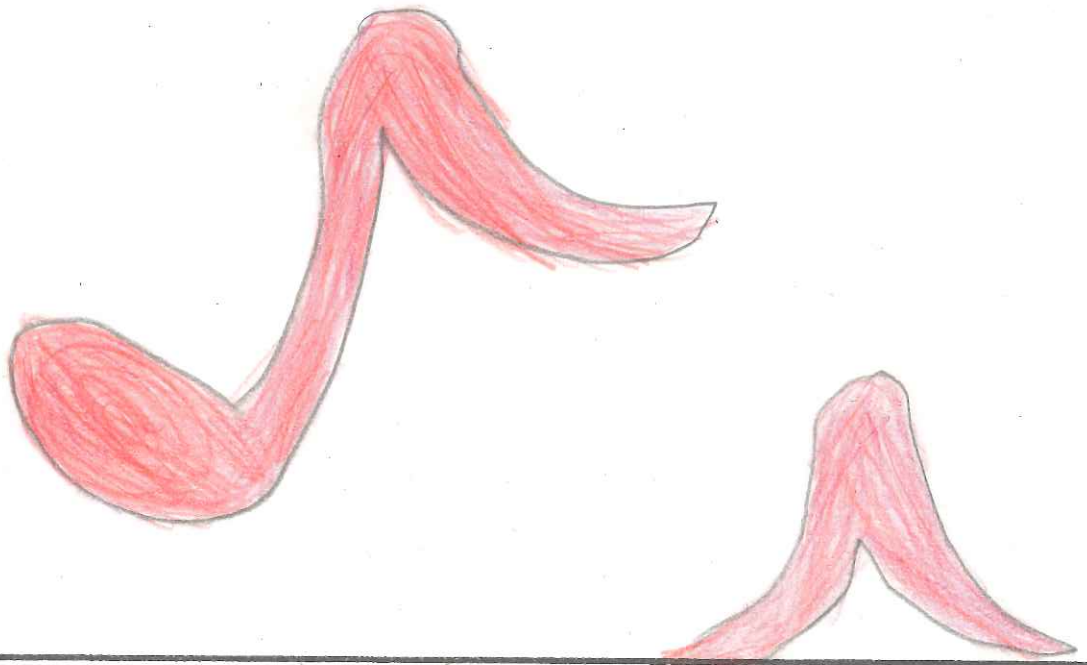
ひやくたろうのみが　　こうののみが
百太郎溝と幸野溝



ひとよしし　　のうさよう　　た　　はたけ
人吉市の農業の田んぼや畑に

つかのみが　　ひんわ　　+ねん
使う水です。ひとばしら伝説にゆらいし、1705年に、
かんせい
完成しました。

ひとよしくま ま じん
人吉球磨の民よう



ひとよし つた なか うた
人吉くまに伝わる長く歌われてきた歌です。

ひとびと あつ し ぜん
人々が集まると、自然とうたわれます。

ひとよし し く ま じん ぜんこく たいかい まい
人吉市では、球磨の民よう全国大会が毎

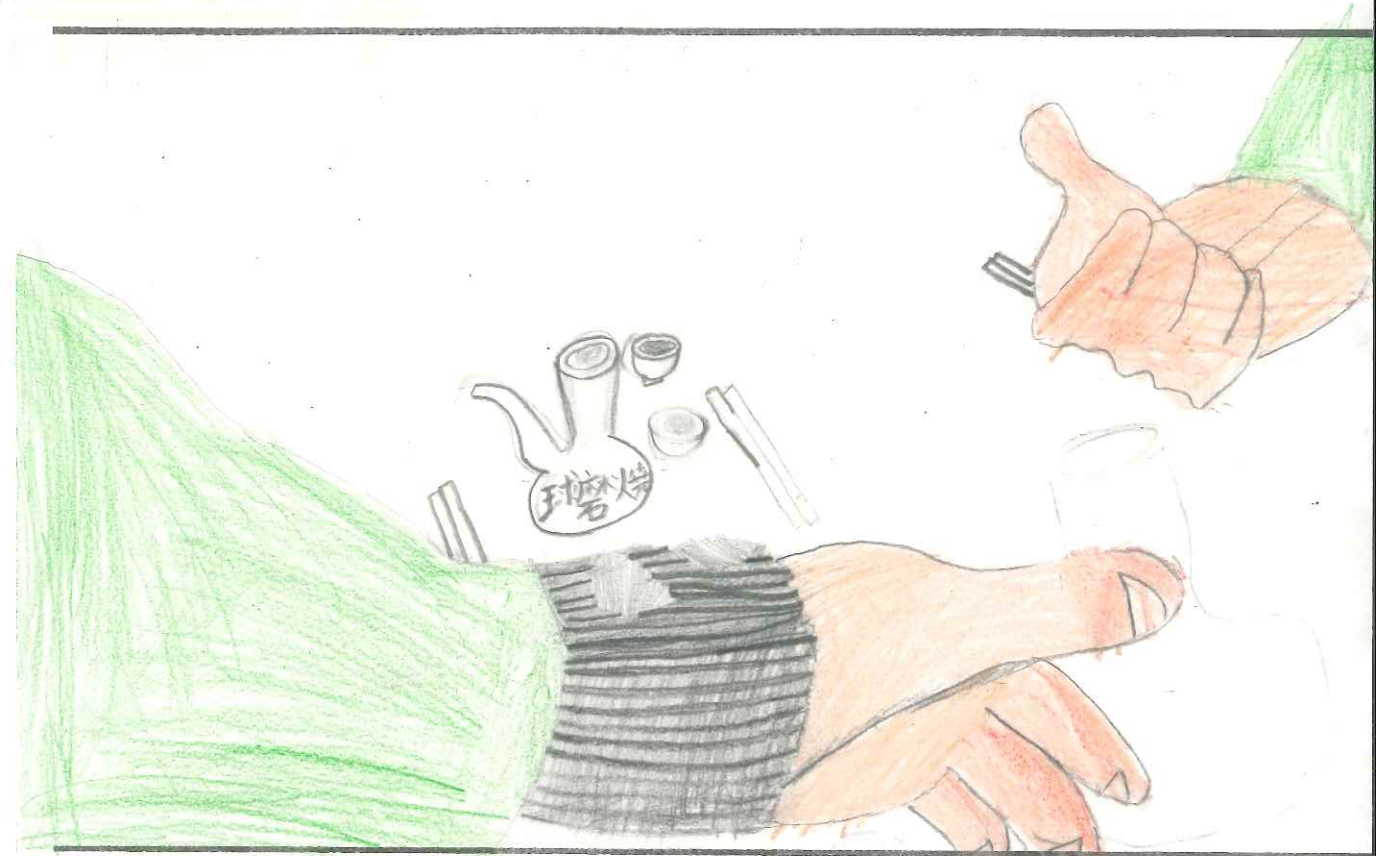
とし
年おこなわれています。

しょうちゅうのばか
焼酎の墓



お酒好きの人であることがわかる。しょうちゅう文化を伝えるおはか。人吉くまには、10こぐらい発見されています。一番古い物では、300年前作られた物です。おはかには、しょうちゅうの形がほってあります。

球磨拳(くまけん)



球磨拳は、人吉球磨のコミュニケーションツールです。この球磨拳のルールは、独自のこぶし遊びで負けた方が好きな焼酎を飲みます。勝

った方は、そのゆうえつ感があふれるのです。夕良木町で

は、毎年10月に「球磨拳の世界大会」がおこなわれて技を競い

あっていました。

庚申信仰と庚申塔



庚申信仰と庚申塔は、人吉球磨地域にあります。いつ建てられたのか、きろくがある塔のうち、人吉球磨で最も古いものです。いろいろな形のものが残っています。500年ほど前に建てられたもので、そのころの人々の心の豊かさがあらわしています。

さ げ ら さ ん じ じ さん かん の のん
相良三十三観音めぐり



さ げ ら さ ん じ じ さん かん の のん ひ ば し く ま ち ほう
相良三十三観音めぐりは人吉球磨地方にあり

え ぞ じ だい
江戸時代からつづいていいます。

さまざまなおがいをかなえてくれる

そうです。

くま 磨 かくら 神 楽
 玉 磨 石 不 申 楽



くま 磨 かくら 神 楽 は、人吉 球 磨 地 いき に あり ます。

おどろ 手 が お 面 を っ け ず 鈴 や 剣 など を 持 っ

て おどろ 神 楽 で す。10 月 8 日 か ら 祭 約 2 か 月 間、人 吉 球

磨 の 43 神 不 土 で お こ な わ れ て います。本 当 は 33 番 まで あり ました。今 は

7 番 の み で す。ち ゅ う 50 年 ほど 前 に 雨 が じ ゃ ら な く な り 雨 を う ぐ せ る た め

神 楽 が は い じ ゃ り ました。今 は、伊 保 存 会 に よ り 守 ら れ て います。

うす だい

白太こおどり



うす だい
 白太こおどりは、人吉球ま地いきに伝わ、てい

ます。太こ打ち 10 数人、鉦打ち 数人で、太こと鉦を

交互に打ち鳴らす、はげしいおどりです。太こ打ちは、

牛鹿、くわ形のかぶとをかぶり、男せいのないしょうで、鉦打

ちは、笠をかぶる女せいのないしょうでおどります。

くまがわ

球磨川



くまがわ にほん ゆめい なが はや かわ ひと ふう
 球磨川は日本で有名な流れの速い川の一つです。古く

ふねつか すがい うえ こうつう さまさま
 から舟を使った水の上での交通に繋がられていました。様々

よう しなもの ひと はこ びん こうつう しゅたん り
 なくらしに役立つ品物や人を運ぶ、ゆき 交通手段として利

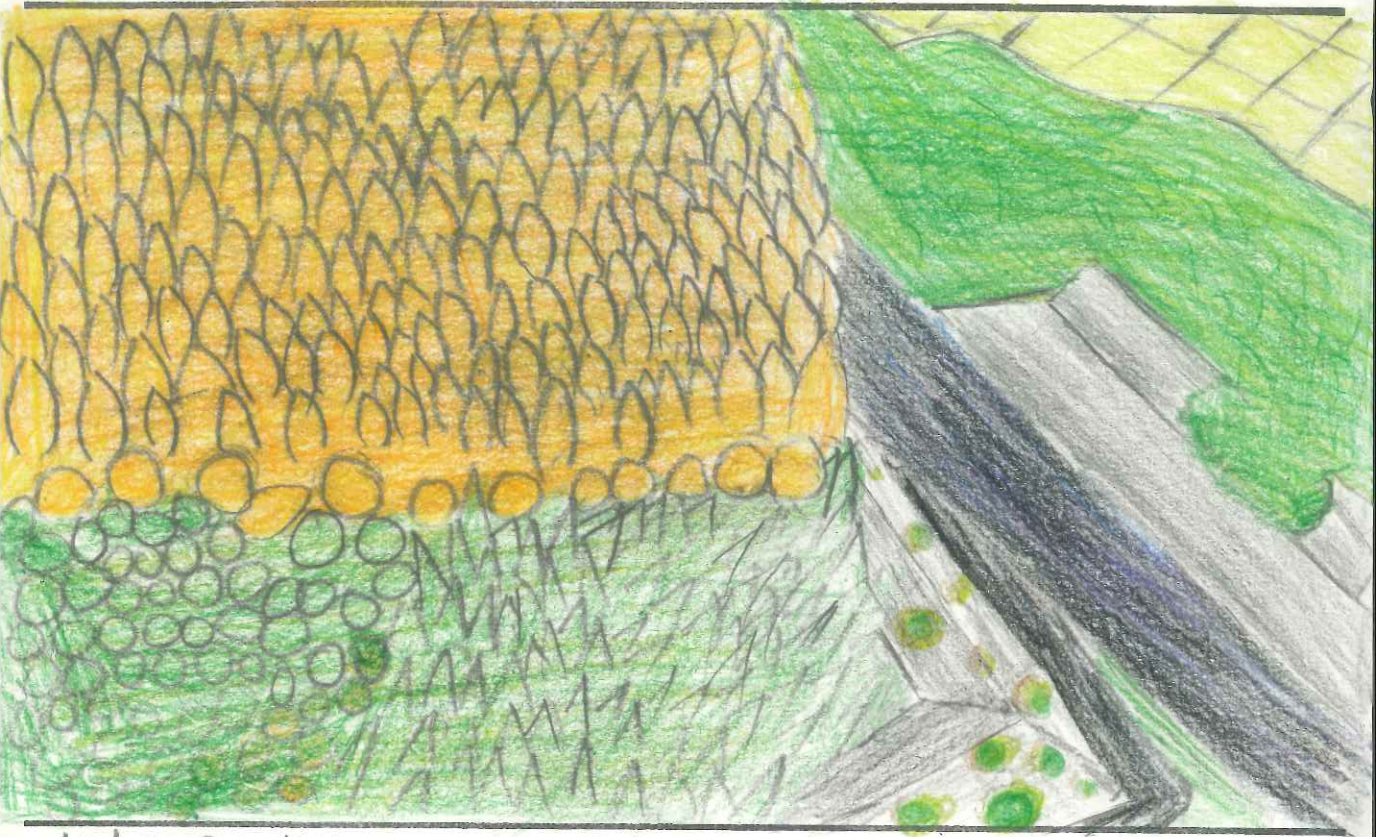
よう ねいじょうまえ ほん てきりょう か
 用されました。350年以上前に本格的利用が可のうとなり

かこう いえ た きょう りょう
 また、河口には家が建てられ、休けいなどに利用され

いま かんこうよう くまがわ くだ りょう
 また、今は観光用の球磨川下りなどに利用されています。

ながとめさがらしじょうかくぐん

永留相良氏土城郭君羊



ながとめさがらしじょうかくぐん

永留相良氏土城郭君羊は山江村に
あります。相良のおとの様が入吉城
に行く前に住んでいた土城です。

おくんちおんち祭り



^あま ^いし ^んじ ^ちよし ^かみ ^あま ^まち
青井あそび社は、人吉市上青井町にあり

ます。木でつくられたストレートヘアふう屋のこまいぬがいま

す。ネ申様あが住みはじめたのはおよそ50年前の9月9日あ

といわれています。青井あそび社のたん生じょう母とも言え

る。とてもめでたい日を9日間かんにわたりネ申様あのこ

をいわまつりをおこなっています。そのおまつりがおくんち祭り

ひとよ はん こ てき たい
人吉藩鼓笛隊



えど じたい

江戸時代のおわりにさつまはん

いま

けん

えいきう

(今のかごしま県)の影響をうけて、イギリス

しき

へい

い

式の兵たいせいどをとり入れたとき

つく
作られたこときたいです。

いわんじょうあと
岩城跡



相良^{さからし}氏^しの前^{まへ}のおと^{おと}のさま^{さま}、平川^{ひらかわ}氏^しの城^{しろ}です。相良^{さからし}氏^しとの戦^{いくさ}いに負^まけた平川^{ひらかわ}氏^しは、城^{しろ}の中^{なか}でなせくなりました。城^{しろ}の中^{なか}には、十三^{じゅうさん}人^{にん}目^めのおと^{おと}の様^{よう}が、神^{かみ}をまつるため^{ため}につくった神^{じん}社^{しゃ}があります。今は、田^いんぼ^ぼにな、て
います。

荒田大王神社(あらだだいおうじんじや)



^(にしきまち) 錦町にあるこの^(じんじや) 神社は約800年前に
作られた平河右衛門義高の^{れい} 霊を祭^{まつ}
る神社です。平河右衛門義高は、^{むらじゆう} 村中のマムシ
を^{たいじ} 退治したという話があります。マムシにかまれ
たらこの^{じんじや} 神社にお^{まい} 参りすれば^{なお} 治るといわれ
ています。

あらた かんのおんどう もくぞうしゃかたよらいざぞう
荒田観音堂 (木造釈迦来座像)



にしきまち 錦町にあるこの像は約900年前に作
られた木でできたおしゃか様の像です。
この像は、体の中にすみで仏像が作
られた年が書かれています。

タイ捨流劍法



いんざが系売いた時代で、世の中がみだ

れていたのは系約500年前ほど前の時代

につくられたと言われている。

これは相良家がつくったタイ捨流劍

法という劍術です。

うゑむらさから し かん れん い さん ぐん
上村相良氏 関連遺産群



うゑむらさから し かん れん い さん ぐん
上村相良氏 関連遺産群これは、

あさきり^{ちやう}町^{せん}にあり^ご戦^じ国^{だい}時^{だい}代^{だい}に

相^さ良^ら氏^しから^うけ^つつ^いた^た上^う村^むら^ら氏^しの^し土^ち成^{じや}や
墓^{はか}です。

しらがじんじや
白髪神社



この白髪神社は、あさぎり町あさぎりにあり、古くから雨乞いあまごの

神様かみさまとして信仰しんこうされています。子授こさづけや安産祈願あんざんきがん

でも有名ゆうめいです。赤あかちゃんがほしい人は原ねが願

いがかたうかもしれません。

たに せが せし じょう
谷水薬師堂



さんもん た に おうぞう が かし
山門に立つ^た^に王像^に、^か噛んだ^{かみ}紙

つぶを^な投げつけ^{いふん}自分の病^やんでいる所^{ところ}に
くっつく^りとご利益^りがあるといわれ
ています。

おかどめ くま の ざじん じゃ
岡留 熊野座 神社



おかどめ くま の ざじん じゃ
岡留 熊野座 神社はあざざり^{まち}町の 岡留公

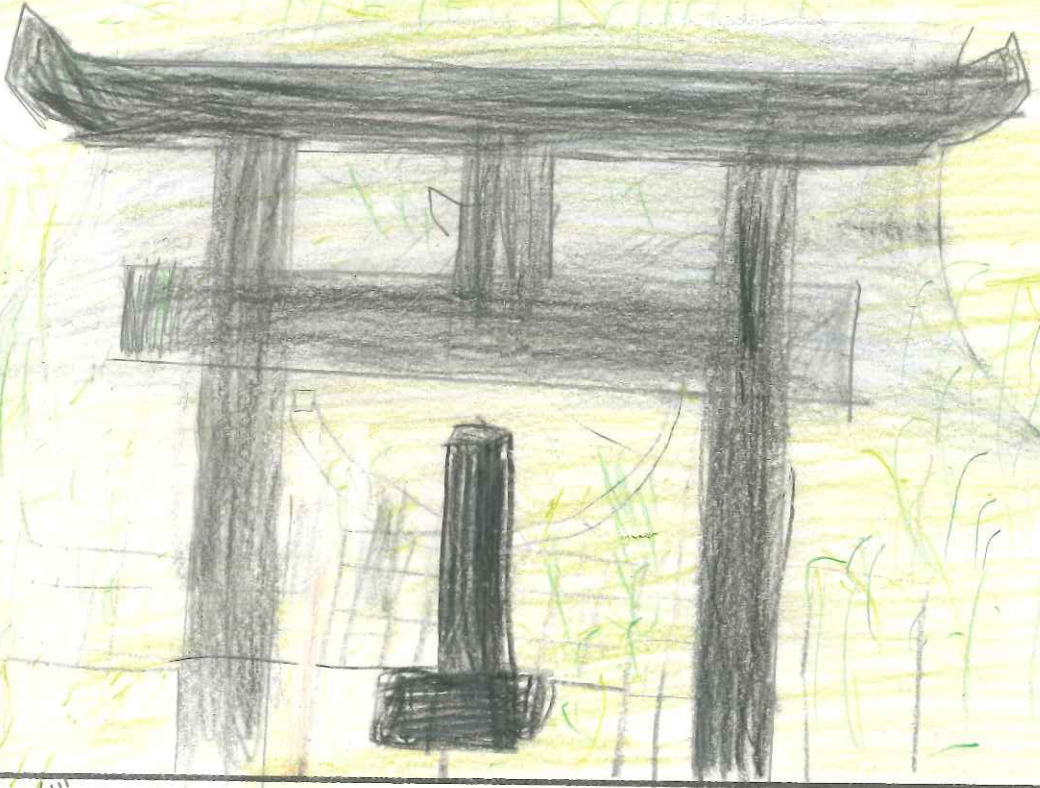
えん
園につながっている^{もり} 森の中にお^{ちが}ります。社殿^{しやてん}は約^{やく}80年前^{みせ}

につくられました^{じんじゃ}が^あね申^{ねま}社^{しや}そのものは740年前^{ななせうねん}に^{がいこく}外国^{にほん}から^{にほん}日本^がが^{せみ}せみ^らら

れた^にときに^{こく}国家^のの^{あんぜん}安全^をを^{ねが}ねが^つつ^くく^らら^たた^てて

つた
伝^{つた}え^らら^れて^いいま^すす

ふか だ たい おう じん じが
深田大王神社



と がらし
相良氏がほろぼした
ひらがらし
平川氏をまつる神社です。

いちふさやまじんぐう
市房山神宮下宮 (さとみや神社)



いちふさやまじんぐうは、ゆのまきまち
市房山神宮下宮は、湯前町に
あります。恋人と一糸者にお参り
し、縁結びグッズもありチェーンソ
ーアート作品が十二こてん
じされています。

いち ふさ やま じん じや ちゆう ぐう
市房山神社中宮



いち ふさ やま じん じや ちゆう ぐう せい がみ むら
市房山神社中宮は水上村にあり

やく 200 ねん ぜん に いち ふさ やま じん ぐう つく
約200年前に市房山神宮を作るとき

たて もの お けい ぐう
に、1つの建物が置かれ、唯一の休

い ば じょ ちゆう ぐう
憩場所として利用されています。

お^{たけ}嶽さん^{まい}参り



ひとよし
人吉のおとの様^{さま}の相良氏^{さがらし}がその土^と
地^ちの人^{ひと}達^{たち}に人吉^{ひとよし}で一番^{いちばん}高い山^{たかい}にお参^{まい}
りをするようにすすめたそうです。

相良氏関連古道



相良氏関連古道は人吉球磨

の古い道です。有形・無形の文化

をもたらし、古い道です。

ひとよし ぐま
人吉球磨のやきもの

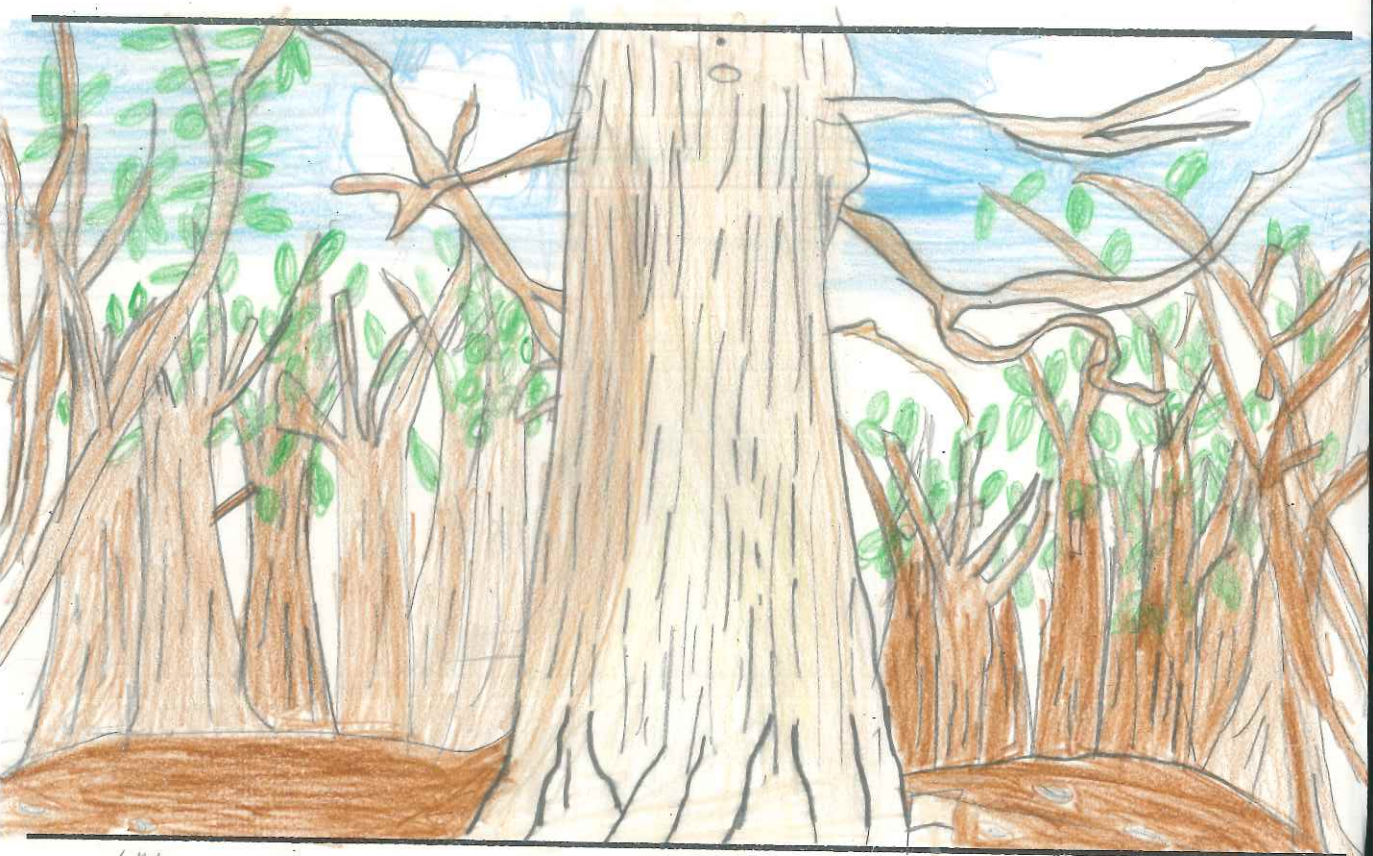


「いっしょう ちや だいいゅう ひとよし
一勝±也火焼き」に代表される人吉球

磨の相良のおとのさまの時代からつづく

やきものです。いま つか
今も使われています。

いちぼうすぎ
市房杉



木討菌令 1000年と言われる巨大な
杉です。巨大な杉がならぶ景色
は、神び白勺です。げん実をおすれて行って
みませんか。